

明治時代

明治元年 1868	明治16年 1883 1884	明治19年 1886	明治25年 1892	明治32年 1899	明治37年 1904 1905	明治42年 1909 1910 1911
1 8 6 8 (明治元年)	1 8 8 3 (明治16年)	1 8 8 6 (明治19年)	1 8 9 2 (明治25年)	1 8 9 9 (明治32年)	1 9 0 4 (明治37年)	1 9 0 9 (明治42年)
戊申戦争(〜69)	西南戦争、この戦争で鷹匠足袋を受注 忍城取り壊し。多くの武士が城下町を去る	⑩ 十万石蔵 橋本喜八郎商店が行田初の足袋工場を開設	行田郵便局の開設	⑫ 牧野本店 日清戦争(〜28) 海軍から艦上足袋を受注	忍馬車鉄道の開業 忍商業銀行の設立 陸軍からわらじ掛け足袋を受注	⑬ 早生蔵 橋本商店、行田初の ⑪ ノコギリ屋根の大規模工場の建設



⑨ 明治8年(1873)創業の老舗川魚料理店



⑩ 明治16年(1883)の店蔵 [国登録有形文化財]



橋本喜八郎商店が行田足袋工場を開設。行田初。「橋本商店」ノコギリ屋根の大規模足袋工場の設立(行田初)。

⑪ 橋本喜助は明治19年(1886)は酒蔵を買収し行田で最古の足袋製造工場を創設。

足袋全盛期の典型的な行田の“中規模足袋商店”の様子を伝える貴重な建物群。明治7年に武士から足袋商人に転身した牧野鉄弥太氏は明治32年以降3棟の「足袋蔵」を建設するなど商売を拡大して行きました。



○「足袋商」明治17年

⑫明治33年(1888)～大正期の足袋蔵工場。

栗原代八商店が日露戦争後の不景気で、仕事が欲しがっていた職人に造らせたと伝えられている足袋蔵。この時代は足袋工場建設ブームが起き、それと共に足袋を保管しておく足袋蔵も多く建てられるようになりました。
[現:足袋蔵まちづくりミュージアム]



○栗原代八商店は文化5年(1808)創業の老舗足袋商店。

⑬明治39年(1906)の土蔵。



「金樂足袋株式会社」⑭明治43年(1910)の足袋蔵